

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連	良く なっている	コンビニ（エリア担当）	競争相手の様子	・週末の来客数が増加している。	
		競艇場（職員）	販売量の動き	・ゴールデンウィークでは例年より来場者数と発売金額が増加し、その次の週の記念レースでは場外窓口の協力や電話投票の売上増により発売金額が増加した。 ・売場、催し物ともに売上が前年をクリアしている。	
	やや良く なっている	百貨店（売場担当）	販売量の動き		
		スーパー（店長）	単価の動き	・ここ数か月客単価が低下し、その分来客数、販売件数が増加して売上増という状態が続いていたが、先々月くらいから徐々に客単価が上昇し始めている。売上で言うと前年の103%くらいまで上がってきている。	
		スーパー（店長）	販売量の動き	・今月は天候不順のなか、客の購入する一品単価は前年並みで、買上点数は前年を上回っている。	
		スーパー（店長）	来客数の動き	・当館一部改装中につき、一時的に来客数は減少しているが、客単価及び1人当たりの買上点数には上昇傾向が見受けられる。	
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・ぎりぎりではあるが、客単価が昨年比で下回らなくなった。	
		スーパー（管理担当）	競争相手の様子	・全体的には3か月前とあまり変わりはないが、2店舗について競合店が閉鎖し、その客が流れてきて売上は増加している。	
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・パソコンだけが少し出遅れているが、テレビをはじめ、その他は全般的に好調である。	
		家電量販店（店員）	単価の動き	・自社チェーンの競合店などもあり、来客数は多いとは言えないが、客単価は高い傾向にある。	
		乗用車販売店（統括）	お客様の様子	・旅行、高額な買物など非日常的なことにお金を使う話をよく聞くようになった。実際新規の客も増加している。	
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・例年になくゴールデンウィーク中の売上が好調で、その後の落込みも予測ほどでなく景気が上向きであると感じる。タイヤやETC、ナビゲーション等の高額品から一般の集客用品、メンテナンス・サービス全般に好調である。	
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・業種によって異なるが、一部の業種では宴会利用等が多くなってきている。	
		一般レストラン（店長）	来客数の動き	・宴会予約の増加、夜の集客が好調な事などにより大幅な利益増加になっている。	
		その他飲食〔ハンバーガー〕（経営者）	単価の動き	・来客数は前年並みだが、単価の上昇により売上が伸びている。	
		観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・3か月前と比較して、来客数が増加している。	
		観光型ホテル（経理総務担当）	お客様の様子	・予約件数の増加、ならびに客単価が上昇している。	
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・今月はゴールデンウィークの予約が早くから入り、また家族旅行が多かったため、例年より人数・売上とも好調であった。	
		タクシー運転手	販売量の動き	・5月の売上は前年比107～8%と、過去最高の上昇率になりそうなことから、景気は確実に上向いている。	
		タクシー運転手	販売量の動き	・観光イベントの客が確実に前年を上回っている。地元では大型商業施設の出店もあり、一般の消費・市場を刺激して近距離・中距離圏のタクシーの稼働回数も増加し、業界全体の活性化につながった。売上は前年比4～5%増で推移している。	
テーマパーク（業務担当）	来客数の動き	・上旬の大型連休期間中は天候にも恵まれ、昨年以上の客の利用があった。中旬から下旬にかけても天候自体は良くないにもかかわらず、ほぼ昨年並みの利用があり、全体としては少し上向きである。			
美容室（経営者）	単価の動き	・新しいメニューのおかげで、多少客単価が上昇している。それに伴いさらなる売上の伸びも期待される。			

	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・展示場への来場者数などには特別変化はみられないが、販売実績においては、徐々に回復基調が見え隠れしてきている。
変わらない	商店街(代表者)	お客様の様子	・ベビー子供服は最近天候の影響も受けやすく、またデフレ傾向はまだまだ続いている。単価が安く付加価値が高い物という客の選択傾向はますます厳しいものになっていて、高い商品にはあまり手を出さない。
	商店街(代表者)	お客様の様子	・学生達は、相変わらず100円200円の商品を購入する際でさえ節約を意識している。
	一般小売店 [靴](経営者)	来客数の動き	・本来ならば今ごろは夏物商戦の出始めのピークであり、来客数は3か月前と比較して増加する時期なのだが、今月は変わらなかった。
	一般小売店 [茶](経営者)	販売量の動き	・新茶の売行きは今一つ伸びておらず、前年を割る状態である。気候の不順の影響もあるようだが、とにかくパツとしない景況である。
	百貨店(販売促進担当)	販売量の動き	・平均気温が3~5度前年を下回り、朝晩は肌寒いくらいの気温である。このせいだけではないだろうが、分母の大きな婦人服の低迷が顕著で、特にミセスゾーンの商況が悪くなってきている。
	百貨店(販売促進担当)	販売量の動き	・昨年の夏前ごろから売上が上昇しており、現在もこの傾向は継続している。
	百貨店(売場担当)	販売量の動き	・天候不順にもかかわらず、春物、初夏物の動きが良かった。
	スーパー(店長)	単価の動き	・毎日使用する食料品の価格に客は敏感に反応し、相変わらずバーゲンセールの有無、内容によって客の動きが大きく変化する。
	スーパー(店長)	単価の動き	・1品当たりの単価については、依然前年割れが続いている。若干の買上点数のアップで前年並みの売上を確保しているが、客の購買状況としては厳しい。
	スーパー(販売担当)	単価の動き	・売上は増加しているように感じられるが、商品の単価が上昇しているため、来客数は増加していない。
	コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・売上高等は3か月前に比べるとほぼ変化はない。ただし、前年比では雨と気温の低下により、飲料・アイス・クリーム及び米飯・冷麺の動きが厳しく、全体では大きく下回っている。
	コンビニ(エリア担当)	販売量の動き	・今月は平均気温が低いせいか、売上は順調である。ただし、水ようかんといったような季節商品は動いていない。
	コンビニ(エリア担当)	販売量の動き	・ゴールデンウィーク中は全般的に良かったが、その後天候不順もあり、飲料・ビール等の動きが鈍く苦戦している。
	衣料品専門店(店長)	販売量の動き	・雨の日が多く気温も低かったため、夏物の動きが鈍かった。
	衣料品専門店(地域ブロック長)	販売量の動き	・気温がなかなか上がらず、夏物衣料の動きが悪い。
	衣料品専門店(販売促進担当)	来客数の動き	・ここ最近暑い日が続かないこともあり、売場は夏物なのに長そでを探している客も見受けられ、昨年と違い夏物の動きが鈍い。アイテムでいうと、ポロシャツだけが売れている。
百貨店(営業担当)	単価の動き	・来客数が前年に比べるとわずかながら減少しているが、客単価は上がっており、売上は前年並みとなっている。	
家電量販店(店長)	販売量の動き	・白物がほとんど販売できず、わずかながら薄型テレビ、DVDなどデジタル化関連商品がまずまずであったのが救いである。	
家電量販店(予算担当)	単価の動き	・3か月前と同様に、付加価値が高く単価の高い商品が一定の割合で売れている。	
乗用車販売店(販売担当)	販売量の動き	・1,000~1,500CCのコンパクトカーとハイブリッド車は売れているが、2,500CCクラスの主力車が不振で受注総数で前年比80%台と厳しい状況である。	
乗用車販売店(営業担当)	販売量の動き	・毎年5月は、稼働日数が少ないので、販売量は確保しづらい月であることを考慮に入れても、計画比85%程度になる。	
住関連専門店(広告企画担当)	お客様の様子	・客の購入に対する慎重な感じがより強くなってきている。	

	その他専門店 [スポーツ] (店長)	販売量の動き	・相変わらず売上は前年割れしている。気温の上下が激しく、不安定なことも売上が伸びない原因になっている。
	一般レストラン (店長)	来客数の動き	・かきいれどきのゴールデンウィークが実質的に長かったためにむしろ売上の伸びはあまり伸びず、3か月前と比べて横ばい状態である。
	都市型ホテル (従業員)	競争相手の様子	・レストランの繁閑の差が大きくなっている。近隣レストランも苦戦している様子だ。
	旅行代理店(経営者)	単価の動き	・受注量はやや悪いくらいではあるが、動きとしては非常に活発な動きがみられる。ただし、単価の低いものが良く動いているのが、気になるところである。
	テーマパーク (財務担当)	来客数の動き	・5月はゴールデンウィークこそ前年並みだったが、それ以降は、天候の不順による団体客のキャンセル等もあり、前年比約1割程度落ち込んでいる。また予約客以外の個人客数も伸びていない。
	設計事務所(経営者)	販売量の動き	・3か月前と比較して特に目立った動きもなく、販売量等についても上向きの傾向は見受けられない。
	設計事務所(経営者)	お客様の様子	・客から話を聞いても売上の減少、人件費負担の重荷など前向きな話がない。
	住宅販売会社 (経理担当)	販売量の動き	・モデルルームへの来場者数は前月比で10%程度増加しているが、契約戸数は前月実績を下回っている。
やや悪くなっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・商店街を歩く人の数や来客数が減少している。特に日曜日や祝日などは郊外の店舗に人が流れるためか、人が歩かない。
	商店街(代表者)	来客数の動き	・5月はゴールデンウィークで行楽に出費がかさんだのか、非常に苦戦している。
	商店街(代表者)	販売量の動き	・近隣店舗の販売量も非常に減少したということで、近辺の大規模店に客がだいぶ流れている。
	一般小売店[印章](営業担当)	お客様の様子	・会社関係の印鑑注文も少なくなったように感じられ、個人の客も安価な商品の注文が多い。
	百貨店(営業担当)	お客様の様子	・気温が不安定なこともあり、客は今すぐ着たい洋服がない様子である。必要最小限な物以外は、6月以降のクリアランスセール等値下げを待つ様子が顕著で、割引販売会を実施すれば、前年を上回る売上がある。
	百貨店(売場担当)	販売量の動き	・ゴールデンウィークの売上が悪く、第2週目も母の日というイベントで少し盛り返したが、雨量が例年の2倍ということで気温も低く、夏物衣料が低調である。このままでは、前年実績を割り込む。
	百貨店(売場担当)	お客様の様子	・石油製品の高騰、天候不順、ユーロ高等で、いろいろな物が値上がり傾向にある先行き不透明感から、客の財布はますます固くなっている。
	百貨店(購買担当)	お客様の様子	・ゴールデンウィーク期間中はかなり集客があり、間近になって物を購入するという客の動向を感じたが、母の日を境に気温の変化も大きく、婦人服業界では夏物がほとんど動かなくなった。また、気温が低いからといって羽織る物を買いつつというような傾向は見受けられなかった。
	百貨店(販売担当)	来客数の動き	・物産展などの人気催事の週は集客も上がるが、昨年に比べて雨も多く気温も上がらないので、全般的には来客数が少ない。
	スーパー(店長)	単価の動き	・1人当たりの買上件数、買上金額共にここにきて非常に落ち込んでいる。今月は雨の日が多く来客数も減少している。
	スーパー(店長)	販売量の動き	・ゴールデンウィーク期間は、カレンダー上の日並びも良く行楽に出かけた客も多くてスーパーマーケットに集客が少なく、売上は昨年の70%前後とかなり苦戦した。また、最近の気温の低温傾向により、飲料が伸びず昨年の80%前後と非常に苦戦している。
	スーパー(財務担当)	単価の動き	・競合店出店により1点単価が下がっており、買上点数が変わらないため、客単価が下がっている。
	コンビニ(エリア担当)	お客様の様子	・ゴールデンウィーク中は天候にも恵まれ、昨年と比較しても来客数は増加しているが、客は本当に必要な物しか購入せず、客単価は減少している。
	衣料品専門店(経営者)	お客様の様子	・来客数はそこそこあるが、財布のひもがかたい。イベントへの反応も鈍く、天候のせいだけでもなさそうだった。

		乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・自動車という高額商品を扱っていることから、商談が長引き決定まで時間が掛かるという傾向が、先月くらいから顕著になっている。ガソリン価格も不安の要因である。
		乗用車販売店 (統括)	販売量の動き	・前年も厳しかったが、今年はもっと厳しく、販売量で前年割れを起こしている。
		その他専門店 [時計](経営者)	お客様の様子	・決算セールで割引を大きくしても、慎重に考える人が多い。
		観光型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・尾道市の巨大な戦艦の映画撮影セットのツアーコースがなくなり、また呉市の同戦艦の博物館の集客効果が薄れてきたためか、客の動きが悪くなってきている。
		タクシー運転手	販売量の動き	・5月の連休が終わり、ある程度は予測していたが利用件数・単価ともに低下している。ただし、タクシーの増加率を考えると景気は横ばい状態にある。
		通信会社(社員)	販売量の動き	・3か月前と比較して、販売量、来客数ともにやや悪くなっている。
		テーマパーク (広報担当)	来客数の動き	・ゴールデンウィークの日並びが良くかなりの集客はあったものの、気温が上がらない上、晴れの日が少ないので、5月は屋外施設としては致命的な状況であった。
		設計事務所(経営者)	単価の動き	・原油の影響で建築製品単価が値上げされてきたので、しばらく様子見の状況である。
	悪くなっている	乗用車販売店 (サービス担当)	販売量の動き	・新車の販売台数が、前年を大きく割り込んでいる。来客数も全く上向きにならない。
		スナック(経営者)	競争相手の様子	・居酒屋でも大手大企業の全国チェーン店が低価格で勝負してくるので、個人の居酒屋も低価格にせざるを得ず、利益が出ないままに営業を続けているといった現状である。
企業動向関連	良くなっている	輸送用機械器具 製造業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・前年比118%の受注量である。
	やや良くなっている	一般機械器具製造業 (経営企画担当)	受注量や販売量の動き	・春の新商品を中心に、国内向けの自社製品の売上が好調である。また、北米を中心とした海外向けの自社製品の売上也好調に推移している。
		電気機械器具製造業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・自動車関連は国内・欧米向けとも好調な受注が入っており、まったく減少傾向はみられない。薄型テレビ関連も引き続き高止まりを維持し、特に夏場に向けてのエアコンの受注が急激に増加している。
		建設業(営業担当)	取引先の様子	・積極的な設備投資に意欲的な企業が、多数見受けられるようになった。
		輸送業(統括)	取引先の様子	・取引先の各企業の決算が発表され、内容は非常に良い業績がでていいる。今まで料金をもらえなかったついで仕事でも、多少ではあるが料金をもらえた。
		通信業(社員)	取引先の様子	・光電話の注文が好調であり、計画を上回って推移している。
		金融業(業界情報担当)	取引先の様子	・輸出を中心とした主力車の販売好調を背景に、生産はフル操業を持続中である。原材料費の上昇は依然として続いているが、製品価格への転嫁も進んでおり、収益面も改善傾向にある。
		広告代理店(営業担当)	取引先の様子	・地場企業の求人広告が増えてきている。
		その他サービス業 [清掃具レンタル](情報管理担当)	受注量や販売量の動き	・新商品の動きが好調である。前年売上に対して大幅なプラス成長になる。
	変わらない		化学工業(総務担当)	受注量や販売量の動き
		化学工業(総務担当)	受注価格や販売価格の動き	・仕入価格は一部を除いて落ち着いてきた。したがって当社の値上げ交渉も一段落の状況である。
		窯業・土石製品製造業 (総務経理担当)	受注量や販売量の動き	・大口案件続出で生産水準は高水準のままである。そうしたなかで短納期品の飛び込みもあり、製造現場は残業体制を継続している。

	鉄鋼業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・比較的景気は上向いていると考えるものの、円高や原材料価格の上昇等先行き不安材料も多い。	
	金属製品製造業（総務担当）	取引先の様子	・受注は好調であり、得意先からの増産要請に応えるため、連休中に設備投資を行った。	
	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・業務請負、派遣で、取引先からの発注が引き続き好調に推移している。	
	輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・引き続き受注量・受注価格とも横ばいのまま推移しているが、原材料等の価格は高止まりから更に上昇する傾向がうかがわれ、採算的には非常に厳しい状況が続いている。	
	その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・いまだに在庫調整が多く、当初予定されていた受注量が調整されている。発注の見込み時点では以前より良くなるような傾向があるが、実際の発注段階になるとやはり厳しい状況が続いている。	
	建設業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・受注量の減少を食い止める効果的な対策はなく、民間関連の仕事は伸ばそうとしているのだが、価格競争が以前より厳しさを増しているため、思うように受注できていない。	
	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・宅配便の運賃単価の低下傾向も、最近は落ち着きを見せている。	
	通信業（営業企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・法人向け通信サービスの受注単価は下がり続けており、消費者向けサービスの価格に近づいている。IPと光をキーワードにした各種コンテンツ競争がますます単価下落に拍車を掛ける様相を呈している。	
	金融業（営業担当）	取引先の様子	・宇部市では企業城下町ということで、中核企業自体は景気が良いということであるが、土地の評価益や減損会計によって利益が出たということで、実際の受注にはつながらず、景気が良くなったという実感はない。	
やや悪くなっている	食料品製造業（総務担当）	取引先の様子	・当社の大口取引先が、会社の状況が大きく変わってきていることから、今後当社との取引が継続されるのかどうかみえにくい。それに伴い、新しく商品開発を進めるべきか、また在庫管理等大きな問題となっている。	
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・年度末の受注が一段落した反動からか、どの業種も思いのほか売上が上がってない。特に、運送業においては燃料費の上昇などで経費の削減が進まず、かなり苦戦している。また、製造業も受注はあるものの波があり、単価面でのカットが目立ち期待したほどの利益が出ていない。	
悪くなっている	-	-	-	
雇用関連	良くなっている			
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（担当者）	採用者数の動き	・客が中途採用について体制を強化している様子が見受けられる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	採用者数の動き	・これまで景気が悪いと言っていた地元の中小企業から、そういう声が聞こえなくなってきた。
		民間職業紹介機関（職員）	求職者数の動き	・離職後の転職活動やリストラ後の転職活動の割合が大きく減った一方、現職でありながら次を探すというパターンが増えてきた。リベンジ転職、より良い条件を求めての転職といった以前には無い転職志願者が増えてきた。
変わらない	人材派遣会社（担当者）	雇用形態の様子	・都市部とは多少タイムラグがあるかもしれないが、正社員雇用が伸びてきており、また求職者も正社員指向に変わってきている。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人は、液晶パネル製造メーカーからの大量増員や介護施設の新規開設に伴う募集などで、全体では前年比3割増と大幅な増員となったが、その他の業種では特に変化はみられなかった。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・月間有効求人数は前年比13か月連続で増加しているが、月間有効求職者数も増加傾向にあり、有効求人倍率が上昇しない。また求職者では事業主の都合による離職者が減少し、より良い条件の就職を希望する在職者の申込みが増加している。	

	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・大手企業においては依然業績好調で、従業員の採用にも意欲的であるが、その一方、中小零細企業においては原油価格の高騰の影響や個人消費の冷え込みなどにより、倒産を余儀なくされる場所も数社出た。
	職業安定所（雇用開発担当）	求人数の動き	・新規求人数は、おおむね前年比で増加しているが、依然として派遣業からの求人・パート求人の増加によるところが大きい。
	民間職業紹介機関（職員）	雇用形態の様子	・社歴の古い地場食品製造企業で、従業員を採用したいのだが、こつこつやる仕事に対しては求職者も一歩引いている傾向がある。求職者の実力以上の背伸び現象が強い。
やや悪くなっている	-	-	-
悪くなっている	-	-	-